1 さまざまな体験講座を行う 茅ケ崎公園自然生態園

「茅ケ崎公園」の中にある「自然生態園」。子どもたちに、豊かな自然を大切にする心を育んでほしいと、年間通して、さまざまないきものの観察会や米作り、クラフトなどの体験講座を行なっている。ぜひ気軽に参加してみよう。

DATA
横浜市都筑区茅ケ崎南 1-4
☎045-945-0816
開園日：土・日・祝日
開園時間：4月～9月 9:00 ～ 16:00
10月～3月 9:00 ～ 15:00

主な体験講座のスケジュール

4月～11月
野の花ウォッチング

6月
ヤゴの観察会

7～8月
セミの羽化、土壌動物、昆虫標本づくり

2月
鳥の観察会

5月 クモの観察会　5月～10月 めざせ！ザリガニマスター（詳細はP10へ）　11月 冬越する生き物　3月 おたまじゃくしの観察会

3 鴨池を中心にトンボがよく見られる 鴨池公園

鴨池公園横を流して緑が約2万所の敷地からなる公園。近家園にはテイエムちゃんに人気のことからテイエムスポットまるる広場、雑木林が広がり、南西側には、鴨池がある。自然教室は例年8月の最終日曜日に開催しています。

DATA
横浜市都筑区母袋東3-2

鴨池で見られる主ないきもの

【野鳥】
カルガモ・コサギ・カワウ・バン・カワセミ・カイツブリなど

【トンボ】
コシアキトンボ・ショウジョウトンボ・シオカラトンボ、オオヤマトンボ・ギンヤンマ・クロイトトンボ・キイトトンボ
7月になるとチョウトンボが見られる

カワウ

カワセミ

コサギ

キイトトンボ

クロイトトンボ

コシアキトンボ

ショウジョウトンボ

チョウトンボ

2 里山風景が残る区内最大の公園 都筑中央公園

港北ニュータウン土地区画整理事業により誕生した、区内最大の総合公園。春は桜、秋は紅葉が楽しめる自然豊かな場所。園内では、人工湿地「都筑里山保全活動」が中心となり、竹林や雑木林の保全、農業体験、自然観察会など、年間通してさまざまなイベントを開催している。

DATA
都筑区茅ケ崎中央2260
☎045-941-0987
参加費：一般参加者小学生以上300円、都筑里山保全活動120円

主な観察会のスケジュール

【4月9日】春の植物観察会
スミレ5点くらべ植物探偵団を超え、シュンランやセリアドリンドウも花を咲かせる季節

【4月16日】春の昆虫観察会
スプリング・エフェメラルと呼ばれる植、ツマキチョウの発生時期

【4月29日】晩春の植物観察会
キジョラン、ギンラン、ヤマハハソラン、エビネなど、野生菜の開花盛期

【5月6日】ゴールデンウィークの昆虫観察会
長いをもテナギで過ごしてきたアゲハの仲間が羽化する季節

【5月7日】初夏の野鳥観察会
夏鳥や多くの留鳥が観察される季節。大池では、外来種駆除で残ったセイコウを除く、カワセミが定住するようになった。

【5月28日】大池の生き物観察会
外来種駆除対策として、アメリカザリガニ釣りを行う

【6月4日】初夏の昆虫観察会
アカシジミ、ウラナミアカシジミ、ミドイロオナガシジミなどが羽化を迎え、トンボもそろそろ観察される季節

4/9
春の植物観察会

6/16
春の昆虫観察会

5/28
大池の生き物観察会

植物では、草春のシュンランから、ウラシマソウ、キンラン、マルバノキ、カントウタンポポ、キンエスロヒキ、ゲンノショウコ、フタリシズカ、ホタルブクロなど、様々な花が咲いてきて、観察会のプログラムを組んでいます。また、繁殖のために海に向かう川魚の例、また、繁殖のために海に戻ります。在来のトウヨシノボリやモツゴなども、せせらぎや池に生息しています。

このように、港北NTには、豊かな自然やいきものがすべて揃っていることを知ることが大事だと思います。はとんどのいきものは、昔からこの田園にすんでいた先住者、間発ですみかを追われなかったもの、復元に生きています。

あれは、そのいきものや植物のしたたかな生き方、粋の美しさ、おもしろさ、生態を不思議さと興味が湧いてきます。出会い、考えるいろいろ、ぜひ、ぜひ、ご参加ください。

一歩進めて自然にかかわるとどうなるか？思ってもいなかったお発見があると思います。

一歩進めて自然にかかわるとどうなるか？思ってもいなかったお発見があると思います。

グリーンマトリックスを多くしたいと思っています。そして、この街に自然にかかわるグループがたくさんあります。それぞれ楽しい活動をしています。ぜひ、参加してみてほしいかがでしょう。

都市と自然を併せ持つ街、港北 NT。駅周辺は都市整備計画により、開かれた都市の姿を見せるが、少し駅から離れると、緑道から緑道へ、緑道から公園へと繋ぐグリーンマトリックスシステムが整備され、豊かな自然が守られている。

総面積、約 90ha もの貴重な緑と、どのぐらいのいきものが生息し、見られるのか。

今母ては、港北 NT でよく見られるいきものを図鑑形式でご紹介します。

この春、外へ出かけて、身近ないきものを観察しませんか。

この豊かな自然をみんなで守りたい

港北NTはいきものの宝庫

おすすめスポット

NPO法人『茅ケ崎公園自然生態園』事務局長・亀田さやかさんにお聞きしました！

取材協力＝茅ケ崎公園自然生態園

港北NTの身近な自然に目を向けてみよう

「緑を最大限に保存する街づくり」を方針として作られた港北NTです。その通り開発前の自然を守ってもらえて残っています。住む人は、街の自然環境を楽しみ、愛い、子どもたちの遊べる里山自然を多くの自然に活用NTで見られる主な野鳥は、カワセミ、シメ、ウグイス、ツバメ、ヒヨドリ、ムクドリ、ツミ、コゲラなどが挙げられます。いつもではいるのですが、オオタカやツミ、コイツ、キビ、ヒヨドリ、ムクドリ、ツミ、コゲラなどが挙げられます。いつもではいるのですが、オオタカやツミ、コイツ、キビ、ヒヨドリ、ムクドリ、ツミ、コゲラなどが挙げられます。

こうしたその年ごとの変化も楽しみです。

昆虫では、子どもたちに人気のカブトムシは多いです。公園などで保全活動を行っている作る堆肥置場が幼虫の生育場になっているためだと思います。他にもコクワガタ、ノコギリクワガタ、シロスジカミキリ、オオカンマキリなど、雑木林にすむ昆虫は比較的よく見られます。

NPO法人『茅ケ崎公園自然生態園』事務局長・亀田さやかさん

身近にいるいきものを通して自然を感じてみませんか？